

SkyBridge MB-A100シリーズ ファームウェアバージョンアップ手段一覧

■バージョンアップ手段は以下8手段を用意しています。

No.	対応手段	作業区分	使用TOOL/メディア	作業概要	メリット	デメリット
①	USBメモリ	ローカル	USBメモリ	①本体DIPSWを変更 ②FWが入ったUSBメモリを挿し、更新実施	・手順が簡単 ・通信量が不要	・現地作業が必須 ・USBメモリが必要
②	WEB-UI (LAN側より実施)		WEB-UI (ブラウザ) PC等	①PC等よりWEB-UIにアクセス ②WEB-UIにてPC上のFWを選択して更新	・手順が簡単 ・通信量が不要	・現地作業が必須 ・PC等が必要
③	DIPSW強制FOTA		FOTAサーバ	①本体DIPSWを変更 ②更新がある場合に実施	・手順が簡単 ・特に事前準備が不要	・通信量が掛かる ・現地作業が必須
④	SRMP強制FOTA (LAN側より実施)		SRMPサーバ FOTAサーバ PC等	①SRMPサーバより強制FOTAコマンド を実行 ②自動的にFOTAサーバにアクセスし、 更新がある場合に実施	・事前又はオンタイムに設定 ・更新ができる	・通信量が掛かる ・何らかのスクリプトが必要
⑤	定期強制FOTA		FOTAサーバ	①事前に定期強制FOTAを設定 ②自動的にFOTAサーバにアクセスし、 更新がある場合に実施	・事前に設定ができる ・一度設定すれば以降自動	・通信量が掛かる
⑥	WEB-UI (WAN側より実施)	リモート	WEB-UI (ブラウザ) FOTAサーバ サーバPC等	①サーバ等よりWEB-UIにアクセス ②WEB-UIにてオンラインバージョンアップ を選択して更新	・手順が簡単 ・リモート作業が可能	・通信量が掛かる
⑦	SRMP強制FOTA (WAN側より実施)		SRMPサーバ サーバPC等	①SRMPサーバより強制FOTAコマンドを 実行 ②更新がある場合に実施	・事前又はオンタイムに設定 ・更新ができる ・リモート作業が可能	・通信量が掛かる ・何らかのスクリプトが必要
⑧	SMS強制FOTA (WAN側より実施)		SMS発信ができる 携帯電話等	①携帯電話等より強制FOTAコマンドを実行 ②更新がある場合に実施	・事前又はオンタイムに設定 ・更新ができる ・リモート作業が可能	・通信量が掛かる ・事前に携帯電話番号等の登録が必要

※ ⑤～⑧はファームウェアVER4以降でのみ動作致します。